

令和4年度 中津川市健康づくり推進協議会 報告

令和5年3月1日(水)
13:30~15:00
健康福祉会館多目的ホール

〈進行〉健康医療課長

1 開会

当日傍聴者なし

欠席者

- ・中津川商工会議所 専務理事
- ・中津川市国民健康保険運営協議会 副会長

出席は過半数で協議会の要綱により会は成立

2 委員委嘱書交付

任期は令和5年3月31日から令和6年5月31日まで

3 部長あいさつ

4 会長・副会長選出

会長 上田宗委員(恵那医師会 中津川医会代表)

副会長 三浦博行委員(中津川市社会福祉協議会 会長)

5 会長・副会長あいさつ

・上田会長

小児、妊婦から高齢者まで、大変幅広い中津川市民全体の健康を今後どうしていくかという、かなり大切な会だと認識しています。皆様のお力をお借りして全国に引き劣らないような中津川市の方向性を決めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

・三浦副会長

会長をしっかり補佐できればと思っております。委員の皆様方のご協力をいただきながら、この会の舵取りをしっかりやっていければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

6 議事

議長 会長

1)「健康なかつがわ21(第二次)」計画の進捗状況(資料1) 事務局より報告

【質疑応答及びご意見】

○委員

HbA1c 値を 7.0 から 7.5 に対象者を上げたのは、パーセンテージが増えたからか。逆に 6.8 とかに下げた方がいいのでは。それぐらい一生懸命取り組まないと。

・事務局

対象ですが、未治療や中断者の方は、HbA1c6.5 以上の方を対象に関わりを持っています。ただ、治療中の方に関しましては、昨年度までは 7.0 以上の方を対象に実施しておりましたが、高齢者の方やインスリン、SU 剤が処方されている場合、人によっては 7.5 まで良いというガイドラインが出ておりますので、医師会の先生にも相談し値を変更させていただきました。

・委員

正常値の場合は、低ければ低いほどいいと言えるのですが、治療中の場合は強い薬を使うと、自覚しない低血糖の危険性が強くなってしまって、その方の寿命に影響が大きいということから、少し目標数値を上げるという傾向があります。

○委員

もうけんぱくんは終りではないか。発足した当時は人口 8 万 2 千人位だったが、今は 7 万人、今後 7 万人以下もありうる。この辺で考え直さないと。いつまでもけんぱちに固執せずに考えて欲しい。

あと都市建築課と連携したイベントとあるが、体育協会では毎年暮れに社会貢献事業として、高齢者に向けてのウォーキング等色々やっている。健康福祉部は残念ながら、体育協会と連携する気があまりないみたいだが、私ども指定管理で公園管理しておりますので色々交えていただければ私どもは対応します。実際僕ら実務でやっているのもう少しそこら辺を考えて欲しいと思います。

・事務局

けんぱくんでございますが、確かにこの運動を始めた時は 8 万人のヘルスアップ事業でしたが、それがだんだん減ってきて、8 ではないじゃないかという話はおっしゃる通りよく言われる話です。しかしながらこれ取り組んできた経緯がございます、全部 8 をデザインとして、基本になっております。いつか見直しの時期が来るとことは事務局としても思っております。ただ今のところまだ若干 8 に近いという状況でございますので、もう少し進んできたら見直しの時期になってくると思っておりますのでよろしくお願いします。

それから都市建築課との連携の話です。都市建築課と書いてありますが、ルビットタウンの前に都市緑地公園があり、そこは都市建築課の管轄になっております。そこを利用したイベントを継続的に月 1 回行っております。そういう意味で都市建築と連携と書かせていただきました。内容的には文化スポーツ課とも連絡を取り合って、スポーツの部門でそこに参加していただき、スポーツ推進委員さんにも参加していただいたということでございます。直接体育協会との連携が無いということでしたが、イベント等の時にはスポーツ課とも連携をとっております。そういう意味から連携と私ども思っておりましたけれども、直接体育協会さんに連絡をさせていただいて、連携をとら

していただければなと思いますので、よろしくお願いします。

○委員

循環器、糖尿病、CKD とかそれぞれの重点疾患が入れてあるわけですが、国の評価指標は多分年齢調整死亡者数とか死亡率だと思います。それを表記していただいて、そこを改善させないと国からの評価アウトカムとしてはいけないと思うので、わかりやすい資料作っていただいて、そこを勝負していただきたい。

がん検診の受診率が低いという点ですが、国の調査票と中津川市の調査票は方法が違いすぎて、目標が達成できているかどうかわかりにくいです。何とかわかりやすい資料がつかれるようお願いしたい。

あとは胃がん検診においては、三重県は多分バリウムじゃなくて、内視鏡検査を取り入れていると思われま。人間ドック学会の方も多分バリウムを推奨することはあまりしていない。患者さんの中でも、バリウムだから嫌だっていう方がかなりの確率でいますので、国、県の兼ね合いもあると思うのですが、そういった方向性も考えてみる必要があると思いますがいかがでしょうか。

・事務局

東濃地区でも多治見市は今年から胃の内視鏡を導入し、恵那市も今後導入予定ということで、中津川市も今後検討していかなくてはいけないという課題があります。二重読影の関係や評価の結果を返すところで体制を作るのに時間がかかるので、今すぐ導入は難しいかもしれないですが、住民さんの要望もあり、受診者の増加にもつながるので、胃の内視鏡検診の方法を今後の検討課題として考えていきたいと思。います。

・事務局

がん検診の指標ですが、当初の目標は国が 50%という目標を立てておりますので市もその目標にしております。途中から対象者が市民全数という形になっておりますので、数が減ってきている状況でございます。

この指標とは別ですが、現在医療計画を立てており、そこでアンケートを取らせていただいたところ、アンケートなので実態にそぐわないかもしれませんが、そのアンケート結果で「この2年間にがん検診を受けたことがありますか」の回答は 46.9%でした。健診の項目により違いはありますが、国や県のアンケートと同じぐらいの値になるかなと思います。

令和5年度まではこの指標でみていくことになると思。いますので、第三次計画では、市の状況に合わせた形で目標値の設定をさせていただきたいと思。っておりますので、お願いいたします。

○委員

国のアウトカム指標の中で、もう一つ新規透析患者数の減少があり、先ほど糖尿病からの透析患者さんの数は、変わってなくて増えてはいないよという話ですが、そこも全体の透析患者さんの減少でとらえなければいけないので、この表現方法を変えたほうがいいと思うのでよろしくお願いします。

2) 健康なかつがわ21(第三次)次期計画策定スケジュール(資料2) 事務局より説明

【質疑応答及びご意見】

○委員

素案の後にパブリックコメントになるのか。普通は計画の最終確認後にパブリックコメントになると思うが。

・事務局

素案検討というものの形になったものになります。パブリックコメントで意見いただいたものを修正して、2月の最終確認はパブリックコメントを反映した形になりますので、第3回は大きな修正は出てこないのではないかと。パブリックコメント次第ですが、そういう形で計画をしております。

○会長

来年度スケジュール的にも忙しいと思いますけど、どうぞ皆様ご協力よろしくお願ひいたします。

7 その他

1) 受動喫煙に関する調査結果について(資料3) 事務局より説明

【質疑応答及びご意見】

○委員

職場が11.2%、思い他多い。飲食店は5.7%、ちょっと低すぎるのではないかと。思ったより路上が9.3%と多い。JRの市内各駅と公共施設にポスターを掲示。それはいいですが、ここの会議で今から4年前、市長が出席した時に「あなたタバコ吸いすぎだ」と言ったこともある。それから駅に喫煙場所を作った。中津川市が観光都市を標榜するならば、駅にある喫煙場所は撤去するべきではないかと。お客さんが降りてくる駅の一番いい所。本当にそのあたりちょっと考えてもらいたい。家庭が多いのはコロナ禍でしようがないのかなあと。喫煙場所は移動を考えてください。

・事務局

職場は11.2%。簡単なアンケートで何とも言えないところがありますが、事務室で吸っているということではなくて、職場のどこかで吸う、たまたま通りかかりそれを受動喫煙としてしまうというものも含まれているかなと思います。それから、駅の喫煙場所については、健康医療課としても大変じくじたる思いがありますので、以前からご意見をいただき担当の部署には申し入れをしております。担当部署でも代わりの場所がなかなか見つからずに、現在に至っております。今後、駅前の再整備の際に十分注意していただくことと、今後リニアの駅ができる際にも、受動喫煙にならないような場所を選んで作っていただくことを申し入れしたいと思っております。すぐに動かすということにはなりませんけれども、その辺をご理解いただければありがたいと思います。以前も意見をいただいておりますのでその都度伝えてはおりますが、市全体として移動場所という話になるとなかなか大きく、駅前のレイアウトを変えるときに取り組みたいという意見もありますので、よろしくお願ひします。

○委員

喫煙に関して言うと、コロナで感染症が広がった時に、一部の職場では喫煙所が感染の温床になったと疑われるようなケースがいくつかあります。今後新興感染症がきた時に、そこから広がっていく状況も想定されるので、職場に対しての働きかけをより強くする。職場で吸えないことは一番きついでかなり有効だと思われまますので、市の方からもより積極的に働きかけると思います。

2) 阿木地区減塩プロジェクト(資料4) 事務局より説明

【質疑応答及びご意見】

○委員

この地域は阿木地区で限定してスタートしたことはいいことだと思うのですが、隣の下呂や高山は、減塩の活動が評価されて内閣総理大臣賞をもらっている現状がある中で、隣市でできて当市でできないわけがないといつも思っているところです。実際名古屋大学と組んでいる関係上こういう形になったのは理解できるので、あと市の方でやらなければいけないのは、どうやって広げていくかということなので、多分、医者としては今までは大学からの先生しか入ってなかったように思いますので、これからは、中津川市民病院の腎臓内科医が入るとは聞いていますが、医師会の循環器内科の先生やCKDの先生等も入ってもらい、そのまま例えば学校での講演授業等を引き継げるような形を作っておく必要があるかなと思います。これから糖尿病からCKDになり、今後は多分生活習慣病という話に、国が動いていきそうな感じがするのでそれを踏まえて担当者も先を読んで組んでいかないといけないと思いますが、その辺に関してどう思いますでしょうか。

・事務局

今後の取り組み展開についてです。小学校の取り組みについては、先日市の食育会議があり、学校栄養教諭部会の栄養教諭より来年度は阿木の取り組みを広げていくという報告がありました。市内への取り組みが広がりつつあるのかなと思っています。健康医療課におきましても、恵那地域が県のCKD予防推進モデル地域に指定されましたので、医師会の先生方と連携をとりながら取り組みを進めて参りたいと思っております。

行政としましては広くCKD予防について周知をしていく役割がありますので、来年度の取り組み計画について、事業所や飲食店、小売店などに働きかけて減塩の取り組みを広げていくなど、これから恵那保健所、恵那市・中津川市と合わせて検討を始めておるところです。

・委員

形、メンバーを決めて、前に進みやすい体制を整えておくということが必要なのと、あとは減塩商品に関しては、岐阜県は割と入りやすいような環境があるように思いますので、スマイルや地元企業にも手伝ってもらい、よりアクセスしやすいような形をとっておくといいかと思えます。

○事務局

資料3で、受動喫煙ポスターについて、医療機関や薬局、歯科医院で、ポスターのご協力をお願いしましたが、その点はいかがでしょう。

- ・ 歯科医師会

中津川市内の歯科医院でポスターを貼ることは全く問題ないと思います。

- ・ 薬剤師会

会員の皆さんに意見聞いてみないと何とも言えないですが、個人的には反対する人はいらっしやらないかなと思いますので、その時にご連絡いただければと思います。

- ・ 医師会

恵那医師会は、理事会で一度意見を聞いてみますが、多分大丈夫じゃないかなと思います。

○委員

減塩のところで乳幼児学級での減塩実施とあるのですが、これとてもいいことだと思います。乳幼児学級で子育て講話をさせていただきますが、お母様方は園へ上がる前の時は、とてもよく聞いてくださる。子供さんのためになることは本当に真剣に聞いてくださるので、ぜひ色々な教室や乳幼児学級でこれを積極的にやっていただけると本当に健康にいいのではないかと思います。私事ですが、主人が心臓の手術もしておりまして、悩みながら減塩食を作ってきた身としては、本当に減塩が大切だと思います。手術してから、主人の減塩をしているうちに私の体重が減りました。もう一つ私は市民病院で集団健診を受け、終わった後に健康医療課さんの方から、そのものをどうしたらいいかっていう説明をしっかりとくださるのでとてもありがたいなと思っております。自分の周りでは、面倒くさいからそれは行かないと言われる方もおみえになると思うのですが、ぜひそういうことに折れることなく、相談に乗っていただけるとどんなことでも伺うことができるし、自分も何か安心して生活ができるので、これからもよろしく願いいたします。

- ・ 事務局

健診等機会がたくさんございますので、保育園幼稚園に上がる前に、そういった機会もとらえしつかりPRをしていきたいと思います。

それから、健診結果のお返しに対する対応ということで、大変ありがたいご意見もいただきまして、私どもも大変励みになるところでございますので、取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしく願います。ありがとうございました。

○委員

市からの手紙が何通も来て、やむを得ずに受ける人が来る。真面目な人は言わなくてもやっている。いかにこのデータを上げるためにとっても同じ人が繰り返し毎年受けていますが、受けない人を何とか上げないと。いろんな受診者の方のデータも上がらないし、かなり差があるっていうのはもう前から言われていますけど。3割の人は真面目に受けます。国は全体の指標、10年の計画を毎年やりますけど、ほとんどうまくいっていない。ターゲットは受けない人をどういうふうにするかっていうのを考えてもらいたい。

又この推進が色々全部ひっくるめてしまっているんで、どれがポイントかぼやけてしまう。アバ

ウトな形で、どうですって報告になってしまう。ではなく、さっきの減塩ではないですが、プロジェクト作ったら、それに関して、こういうふうになってどうですかという意見を僕らに求めて欲しいんですけど、その辺の手続きをもうちょっと考えていただきたいと思います。

・事務局

健診を受けない人、関心のない人をいかにしてこうか、どう関心を持っていただくかということですが、健康だけに限らず、市全体どの分野においても課題になってくると思います。そういった意味で、例えば教育講演会を色々やるのですけども、やはり関心のない人はそこに行かない。いかにして関心のない人に関心を持っていただくかというのが市全体のこれは課題かなと思っております。健康医療課でも健康福祉まつりを東美濃ふれあいセンターでやっておりました。これも同様で、そこに行って健康について色々トライしてみたいという方々は、もともと健康に関心がある方で、本当に目を向けてもらいたい、健康に関心を持っていただけてない方に来ていただくというのができないという反省もございまして、やり方を今後ちょっと変えていこうということで今検討しております。健康福祉まつりではそういった取り組みを今後やっていきたいと思っております。

減塩のプロジェクトなど、明確にして報告をということでございました。確かにそういった意味で、取り組みを行うと本当はいいのですけれども、健康全体に関してはこの健康づくり推進協議会でやってく形になっておりますので、大変広くなってしまっていてわかりにくい部分もあり、その辺は申し訳ないと思っております。この健康づくり推進協議会の中でも、特にトピックスとして取り上げる部分があれば、今後取り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○委員

2点ほどお伺いしたい。減塩のことですが、今の時期だと減塩が響きますが、夏は脱水症予防で塩アメやサプリ等が出てくる中で、塩だけが悪いという風潮を作ってもいけないと思うし、みんながみんな減塩しなきゃいけないのか、すごく汗をかく人からしてみるとある程度の塩分が必要じゃないかと。どういう人が、どれぐらい塩分を取ったらいいのかということを書いていかないと。塩は駄目ばかり言っても多分響かないと思っておりますので、メリハリをつけたほうがいいんじゃないか。

あと、受動喫煙ですが、観光客の方が町でたばこを吸うとか、歩きたばこをしている人は誰が注意できるのか、やらないためにはどうすればいいのかということを考えていった方がいいのかなと単純に思いました。

・事務局

減塩についてですが、対象は血圧が高くなってきて医者から塩分を控えなさいと言われる方が多いですが、やはり長年培ってきた食習慣はなかなかすぐに変えるというのは難しいので、子供たちから減塩を始めているわけです。塩を取らないっていうよりも、薄味に慣れるということで取り組みを行っています。3歳児健診時おしっこで尿中塩分測定を行っています。前日の摂取したものによって、上がり下がりがありますが、子供たちを通してご家庭の味付けを見直していただきたい。色々な角度から減塩は進めていきたいと思っております。

・事務局

受動喫煙に関してもご意見ありがとうございます。法改正以降、今まではマナーとして受動喫煙防止をしていたものが、ルールとして制度化されたという部分もありますので、そこは広く住民の方にお伝えしていきたいと思います。

○委員

今の減塩に関しては、成人の尿中塩分から塩分摂取を健診等に出しているところもあるようです。割と汗をかく人は高くでませんので、摂取量としてそれほど摂ったことになっていないと思うので、説得力と個別化ができるかなと思います。もし予算が取ればそういった方法もあるかなと思いました。

あと、先ほどのターゲットのことですが、やはり受けてもらえない人のことがわからないので、ぜひやって欲しいです。高血圧のⅡ度以上の人でも、実際治療受けている人は47%位しかいなくて、半分以上が治療されていないという国のデータがあるので、ひっかけるだけじゃなくて医療の勧奨に結びつくような指導とか、治療が中断した人に対応できるような行政としての対応をぜひよろしくお願いします。

今日は活発なご意見、どうもありがとうございました。

・事務局

大変貴重なご意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。次回に生かして参りたいというふうに考えております。

8 閉会

・三浦副会長

いろいろなご意見ありがとうございました。第三次健康なかつがわ21の策定のスケジュールが示されたわけでございます。これに向かって、第二次の検証を踏まえながら、令和5年度中にはしっかりした第三次の計画ができるように進めていきたいと思っておりますので、委員の皆様方のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。それでは以上をもちまして閉会とさせていただきます。ご苦労さまでした。